

カトリック六甲教会 教会報

2015

12

No.528

2015年度 チャリティバザー ～愛を届けよう～



初めに、今回のチャリティバザーを支えてくださいました各地区の皆様、そして有志の皆様お疲れ様でした。そして、心より感謝申し上げます。雨天にも関わらず、ご年配の方から子供達まで、多くの方々がお越し下さいました。会場には笑顔があふれ、活気に満ちた、和やかな、かつ忙しいバザーでした。

私にとりまして、バザーの運営に携わるのは初めての経験で、チーフをと言われ分からないことばかりで、“びっくりぼん”でした。急ぎ、これまでの資料に目

を通し、大方の流れを把握し、少し気持ちが落ち着きました。

教会も眺めれば高齢化が進み、働き手は減り、働く方の負担が大きくなってきています。そこで、改善できる余地はないかを考え、衛生面からのカレー・豚汁の持ち帰りの廃止、地区の状況に見合った出店を提案し、聖パウロ書院の出店と条件無しの本本市の復活を行いました。また、のみの市では新たな販売方法を取り入れ成果を上げていただきました。台所ではカレー・豚汁・かやくごはんが見事な連携で出来上がっていき、会場設営では男性陣が手際良く設営していく様子に、蓄積されてきた経験の素晴らしさを垣間見た思いでした。バザー開始までは準備の遅れている売り場の助っ人に、備品の補充にと駆けずり回りましたが、スタートしてからはごみの整理をしながら、歓談される皆様の様子を眺めておりました。初めての試みのお持ち帰り無しのカレー・豚汁が完売するかが少し気がかりでしたが、完売したと聞きホッと致しました。

今、バザーを無事に終えて思うことは、皆様の協力なくしてはこのバザーは成り立たないと言う事です。今後、信徒の高齢化で働く人は減少し、これまでと同じバザーは難しくなるでしょう。今までの既成概念を取り除き、その時々状況に合わせて、働く人の負担を軽くして、みんなが楽しかったと思えるバザーを模索し工夫してゆくことが今後の課題ではないかと思えます。その為にも、今回反省会で出た意見や提案が次回に生かされるよう、事前にしっかり話し合い取り組むことが次につながってゆくと思えます。

多くの愛と喜びを届けるチャリティバザー。見守って下さった神様に感謝。

(長瀬)



先日のチャリティバザーには、社会活動部から9つのボランティアグループが出店し、みなさまから多くの支援をしていただきました。この紙面をお借りして心から厚くお礼申し上げます。

(社会活動部)



ナルドの花たより

すべての人、本当に私たち全員が、神の目に大切な存在なのです。(2015. 11. 20)

パリでのテロ襲撃事件に対し、深く哀悼の意を表します。どうか皆さん、私と共に、犠牲者とそのご遺族のためにお祈りください。(2015. 11. 15)

キリスト者として私たちは皆、善い牧者に倣い、傷を負っている家族を助けるように呼ばれています。(2015. 11. 12)

虚栄心によって、私たちは神から遠ざかるだけではなく、馬鹿げた人間に見られます。
(2015. 10. 31)

親である皆さん、自分の子どもたちのために、“時間を無駄に過ごす”ことができますか？それは、皆さんが日々できる、最も大切なことの一つです。(2015. 10. 28)

カトリック中央協議会 教皇フランシスコのツイート (邦訳) より

と歌ったところです。私は 20 代半ばの 3 年間で郡山市で過ごしました。智恵子抄を手には安達太良山に登ったことも数度ありました。このような形で再訪するとは思いませんでした。福島にほんとうの空が戻ってくる日が来ることを祈らずにはおられません。

宿題を渡された小学生のようにたった 5 日間のこの経験をどのように、これからに活かすことが出来るのだろうか、考えています。

アンサンブル・イソジーナ メンバー 三浦

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～

<行事報告>

<永遠の日曜日>にちなむ祈りと音楽の集いに参加して（11月1日）

11月1日（日）、ドイツで活躍するパイプオルガン奏者 Dr. フローリアン・ヴィルケス氏と、同じくドイツで活躍する日本人ソプラノ歌手安保ヨーネンツ恵美氏を招聘して、祈りと音楽の集いが開かれた。万霊節にふさわしい選曲になる数曲が、独奏とコラボレーションによって奏でられる。魂を震わせるオルガンの轟きと、魂の汚れをぬぐい去る清らかな歌声が、天を目指して上昇し、遂に神の幕屋が開かれて、この神への捧げ物が受け入れられる。その音に乗って私達もそこへ到達できるかのような、日常を遙かに超えるいつきを贈っていただいた。

アンコールはなじみの深いバッハの「トッカータとフーガ ニ短調」*と、昔懐かしい「里の秋」である。「里の秋」は、南方に送られて未だ帰還せざる人々への思いから、終戦の年である昭和 20 年 12 月 24 日に発表された。安保氏のこの説明をうかがって、その歌詞に含まれる深い悲しみに胸を打たれる。「ああ、母さんとただ二人」とか、「ああ、父さんのあの笑顔」、そして特に三番の歌詞、「さよなら、さよなら、椰子の島、お船に揺られて帰られる、ああ父さんよ、ご無事でと、今夜も母さんと祈ります」は、そのような背景をもっていたのだった。

居ながらにしてこのような第一級の音楽に触れられることに感謝しています。

*曲目をご教示下さった折川氏ほかに御礼を申し上げます。 (Maria)

《各部だより》 各専門部会の活動をお知らせいたします

📖 小教区評議会

12月13日(日) 12:30 小教区評議会

📖 広報部

12月27日(日) 教会報1月号発行

📖 教会学校

12月19日(土) クリスマス会・終業式

12月27日(日) リーダー会

1月9日(土) 始業式・もちつき



《 お 知 ら せ 》 教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです

★社会活動部より★

- 12月2日(水) 10時 手芸の集い(第1・2会議室) どなたでも参加ご自由です。
12月12日(土) 10時 炊き出し(イグナチオホールお台所)
小野浜グラウンドにて、おじさん達のお話し相手や、配食だけでもOKです。
12月20日(日) 10時ミサ後 ふれあい広場(イグナチオホール)
12月24日(木) 9時30分 ともしび会ケーキ作り(イグナチオホールお台所) 施設の子どもたちに

越年越冬の炊き出し

日時: 12月28日(月)~1月5日(火)

10:00~15:30

場所: 東遊園地 (神戸市役所南側)

主催: 越年越冬実行委員会

神戸地区カトリック教会の当番日

1/1(金)・5(火)

お手伝いできる方は東遊園地にお越しください。
これ以外の日でも炊き出し期間中にお手伝いできる方
はよろしくお願い致します。



.....ボランティアグループの紹介 その8.....

ラルシュかなの家

「ラルシュ」は、フランス語で「箱舟」の意味から付けられた名前です。その箱舟の中で、「なかま」と呼ばれる知的障害を持つ人々と彼らの生活を支える「アシスタント」と呼ばれる人々が、人間らしさを探そうとするコミュニティー（共同生活の場）を営んでいます。1964年にフランス系カナダ人のジャン・バニエにより設立され、現在では世界35か国にこの共同体コミュニティーが147もあります。この国際ラルシュに属しているコミュニティーは、日本に一つしかありませんが、それが「ラルシュかなの家」なのです。かなの家は1978年12月 静岡市足久保に設立されました。

知的ハンディをもつ人は、社会で生きていくのに不都合なところをかなり抱えています。しかし、人間的にみるなら、単に困った人ではなく、人間の根源にあると思われる優しさ、喜び、純粋な気持ちをかなり持って、彼らは、「健常者」が持っていない、あるいは失ってしまった「人を迎える力」「赦す力」「つながりを大切に作る力」を持っています。彼らは、自分たちの暮らしを支えるために、畑仕事をしたり、環境にやさしい天然素材のせっけんを一生懸命作っています。よく見ると少しへこんでいたり、曲がっていたり、形がいびつです。それは、一つ一つの手作業で作られているからです。

「かなせっけん」はすべてがナチュラル素材でできているので、肌に負担をかけることなく安心して使えます。また環境にも優しく、せっけん水によって、川が汚れたり、海や川の生き物の生命が脅かされるようなことは全くないのです。苦しい資金面から、大手の企業のように宣伝が大きくできないので、人から人へと伝わり、支援していただいております。

どうぞこれからも彼らの支援をよろしくお願い致します。第3日曜ミサ後のふれあい広場でお待ちしております。
(社会活動部 井川)

★墓地っ子だより★

～藤棚でピクニック～

10月のある日、秋晴れの気持ちの良い日でした。藤棚のベンチでピクニックのご夫婦に出会いました。毎月墓参をしてお弁当を食べられるとのことです。多分故人の思い出話をされているのでしょう。



～秋の墓参～

11月1日はお墓参りの日でした。雨の天気予報に反して風の無い良いお天気でした。お墓には雨宿りの場がありませんので晴天が何よりです。そして、参加者が会を追う毎に増えていると感じました。

今回は納骨のご遺体が8体、名盤への刻銘が20名でした。その差12名は生前刻銘、つまり将来のための納骨予約ということです。この制度はなかなかの名案です。

刻銘は11月末に完了予定です。

(墓地委員会 SF)

追記：11月1日共同墓地納骨者、生前刻銘者の名盤への刻銘は11月27日に完了致しました。ご確認下さい。



クリスマスチャリティコンサート

開催日： 2015年12月5日(土)
開演： 13時
場所： カトリック神戸中央教会
主聖堂

義援金は 炊き出しや、須磨方面の夜回りなどの支援活動に使わせていただきます。

ジャンルは、コーラス、ジャズ、グレゴリアンチャントなど様々で、アットホームなコンサートです。みなさまのご支援よろしくお願いたします。

神戸地区社会活動委員会

第57回神戸市民クリスマス

キャロリング in KOBE 「心あたたまるクリスマス」

聖句： 「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ」
ルカによる福音書 2 章 14 節より

日時： 2015 年 12 月 11 日 (金)
場所： 日本キリスト教団 神戸教会
神戸市中央区花隈町 9-16

入場料： 無料。どなたでもご参加いただけます。

プログラム： 1 キャロリング 17:00~18:45 北野コース・元町コース
2 子どもプログラム 17:00~19:30 入退室随時可
3 ほっとタイム 18:00~19:15
4 祈りと祝福のとき 19:30~20:30
5 青年のつど 20:30~21:30



~~~~~

カトリック六甲教会「祈りと音楽の集い」シリーズ



### 「クリスマス音楽の集い」

日時： 2015 年 12 月 23 日 (水) 祝日 14 時  
場所： カトリック六甲教会 主聖堂  
入場料： 無料  
プログラム：

カトリック六甲教会聖歌隊合唱 クリスマスキャロル、  
ジョン・ラターの合唱曲 など  
森脇一有美 (フルート) モーツァルト  
折川 真理 (ヴァイオリン) ヘンデル など

良いクリスマスを迎えることができますように、皆様と楽しいひと時を過ごすことができればと思います。どうぞ、お誘い合わせの上、おいでください。

~~~~~

新年会のご案内



日時： 1 月 10 日 (日) 10 時ミサ後

場所： イグナチオホール



教会で成人式を！

1 月 10 日 (日) 10 時ミサ中、新成人祝福式が行われます。
成人を迎えられる方にお声をおかけください。信者・未信者は問いません。



みんなの広場

シルバー連休が終わった2日目の午後、ピンポンとドアが鳴るので警戒して、ドア越しで「どなたですかあ」と尋ねる。「あんしんすこやかセンターから参りました」という返事。どうやら勧誘のたぐいではなさそうなのでドアを開けました。「詫洋一さまはいらっしゃいますか?」「はあ、私ですが」過日、神戸市の健康アンケートにお答えいただいた方にその後のご様子を伺いに参りましたという。そういえばそんなこともあったなあと思い出していると「その後、お変わりありませんか、階段をてすりなしで上がっていらっしゃいますか」などと訊く。そんな答えしたかな、余計なお世話じゃと思ったが、親切そうな比較的若い女性、保健師さんのようです。「それは、それはご丁寧に、いや目下大丈夫ですよ。ご心配なく」「そうですか、それは結構でございます。また何かありましたら」と言って「生き生きはつつ自分らしく」というタイトルの介護予防パンフレットを置いて帰って行きました。ドアを閉めて妻と思わず吹き出しました。なんじゃそんな心配いらんわい…。とはいうものの、そういえば先日、三日月会に出席したなあ。お世話の方々の温かい心尽しに感謝しながら、おおぜいの会員さんたちにまじって歓談してきました。「いつも喜んでいなさい、絶えず祈りなさい、どんなことにも感謝しなさい」(テサロニケの信徒への手紙) 年齢相応に自然体で無理や強がりと言わないように心がけようと思った次第です。ちなみにパンフレットの発行元は「神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課」という長ったらしい名前のところでした。

(詫)

もうすぐ楽しいクリスマス

明治時代、サンタ・クロオという人(多分、仮名でしょうね)が、サンタクロースの役をして、人々に贈り物をしたのが、日本初の一般向けクリスマスだと、いられています。



王子動物園では、7月6日にレッサーパンダの赤ちゃんが生まれ、まやビューラインは、11月3日に乗客2500万人達成しました。ロシア語に興味があります。藤枝・グトワ・エカテリーナさん(愛称カーチャ)の日本語およびロシア語の美しい声・美しい話し方に魅せられました。手話にも興味があります。実用というより、コミュニケーションとは何かを考えるためです。尊者・北原怜子さんとの出会いもありました。ゼノ・ゼプロフスキーさんを描いた絵本に、彼女が現れたのがきっかけでした。

10月31日、再度山の近くの再度公園で催し物があって、その時に神戸市立外国人墓地へ行きました。自然に囲まれた約14haの聖地に、世界60ヶ国、約2,800柱有余の墓碑が、宗教・宗派別(ゾロアスター教、回教、ユダヤ教、キリスト教(カトリック・プロテスタント・ギリシャ正教))に整然と配置されていました。年間を通じて遺族の方や遠く日本を離れた本国からも墓参の人が絶えないそうです。

今年は初めて奥摩耶天上寺の鐘を正月に撞かせて頂きました。六甲教会の鐘の音は正午と午後6時に響きわたり、摩耶山の掬星台(2015年10月9日、日本新三大夜景に認定される)及び、地形・方角によっては摩耶山麓まで聴こえます。

そもそも羊飼いたちや東方の三博士へのクリスマスのプレゼントは、「招かれたこと」だと私は思います。

自分の体験や意志や気持ちを表明できる場は、人生において意外なほど少ないです。それを書くことによって、誰かのクリスマスプレゼントになるかもしれません。何卒宜しく願い申し上げます。みんなの広場は、みんなの、みんなによる、みんなのための広場です(参考:リンカーン)。

(MAYA 702)

クリスマスのことなど

12月8日は「無原罪の聖母」の祭日です。嘗てこの日は「童貞聖マリア無原罪の御孕り」となっていました。日本語に関する限りこの二つの表現は対象が違うのではないかと、煎じ詰めれば同じになるとしても。6世紀には祝われていたというが（光明社彌撒典書）アキノの聖トマや聖ボナベントゥラなど少なからぬ神学者は聖母の無原罪を認めませんでした。「無原罪の御孕り」が誤りない事実として宣言されたのはようやく1854年12月8日になって、トラブルメーカーの教皇ピオ9世によってでした。その裏にはイエズス会の「猛烈」があったとか。この教会の聖堂は「無原罪の聖母」に献げられています。主任司祭だったブラウン神父の発案だったようです。大歓迎、僕が洗礼の恵みを戴いたのが12月8日でしたから。マリア様も御自分の無原罪を自覚してはおられなかったのではないかと。マリア様をご自身の無原罪を知られたのはおそらく被昇天の時ではなかったかと思えます。原罪がなければ、肉体の死はあり得ないから。無原罪の必然と言ってもよい聖母の被昇天が誤りない事実として宣言されたのはさらに下って1950年11月1日、教皇ピオ12世によってでした。

人類の目には見えない「無原罪の御孕り」で地上に始まった救いの実現は、町外れのあろう事か汚い馬小屋ででした。「今日、ダビデの町に、あなたがたのために、救い主がお生まれになった」。天使の声を聞き、御前に跪いたのは貧しい数人の羊飼いだけでした。天使たちの歌声は、喧噪のベトレヘムの街の人々には聞こえませんでした。

暗黒の戦時中、25日0時から始まったクリスマスのミサには、六甲中学校の真っ暗な山道を上って少数の信徒が集まりました。「この嬰兒は贖いの生贄」、ヨーロッパの古謡に歌われたこの一言がクリスマスそのものでしょう。わたしのクリスマスそのものの歌、それはグレゴリオ聖歌深夜のミサ入祭唱です。もともと教会には12月25日のクリスマスはありませんでした。

Stille Nacht, heilige Nacht !

(三好)



「いつくしみの特別聖年」が始まります。

2015年12月8日 ~ 2016年11月20日

<開年ミサ>

日時：12月13日(日) 14:00

場所：大阪カテドラル聖マリア大聖堂

新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく「会衆の動作」の変更箇所について
(典礼部)

待降節第1主日より新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づいて、所作等の変更が行われますが、当教会における「会衆の動作」に関する変更点は以下の通りです。

(1) 福音朗読前の応唱（アレレヤ唱・詠唱）

これまで、アレレヤ唱（詠唱）はすべてを一同が通して歌っていましたが、今後は、10時のミサでは、アレレヤ唱（詠唱）の唱句は聖歌隊が歌い、会衆は「アレレヤ」の部分のみを歌います。

(2) 福音朗読

司祭が「○○○○による福音」と唱え、親指で福音書、ならびに自分の額、口、胸に十字架のしるしをします。会衆も「主に栄光」と唱えながら、司祭と同じように自分の額、口、胸に十字架のしるしをします。

(3) 奉納行列の際の着席

共同祈願が終わり、一同が着席し、パンと献金を奉納する行列が行われる間は、会衆は途中で立つのではなく「奉納祈願前の祈りへの招き」が行われるまでずっと着席しています。



主の降誕（夜半のミサ） 12月24日(木) 17時、19時、21時

主の降誕ミサ 12月25日(金) 7時（早朝のミサ）、10時（日中のミサ）

神の母聖マリア ミサ 12月31日(木) 23時
1月 1日(金) 7時30分、11時



六甲教会受付 年末年始休業のお知らせ

2015年12月28日(月)～12月31日(木)、2016年1月2日(土)、1月11日(月)

教会報1月号の発行は、12月27日(日)です。
原稿は12月13日(日)までに教会受付へご提出
ください。FAX 及びメールでも受付いたします。

(広報部)

<http://www.rokko-catholic.jp>

カ	ト	リ	ッ	ク	六	甲	教	会						
〒	657-0061	神	戸	市	灘	区	赤	松	町	3-1-21				
電	話	0	7	8	-	8	5	1	-	2	8	4	6	
F	A	X	0	7	8	-	8	5	1	-	9	0	2	3
発	行	責	任	者	ア	ル	フ	レ	ド	・	セ	ゴ	ビ	ア
編	集	広	報	部										